

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
大	事業	501	地域振興事務事業	中	事業	01	地域振興事務事業	(坂井)	
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	■さかい夏祭り
--------------	---------

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	坂井支所
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進	地域振興課	
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務	(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業
根拠法令	無				
根拠例規	有	まちづくり推進課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
坂井地区に係ることや支所が所掌する事務等について、地域住民の意見を反映させ、住民と行政の協働によるまちづくりを推進する。	
【事業の概要】	
○需用費	459 千円
光熱水費（かがし展示場電気料）	33 千円
修繕料（かがし修繕料）	426 千円
○委託料	7 千円
見守りゆうかがし周辺除草作業	
○補助金	6,000 千円
さかい夏祭り事業補助金	

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト				
事業費	6,466	6,497	7,617	△ 31
人件費	9,025	9,459	8,727	△ 435
総事業費	15,491	15,956	16,344	△ 466
人員				
正職員	1.35 人	1.35 人	1.30 人	0.00 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	1.35 人	1.35 人	1.30 人	0.00 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	6,426	456	0	5,970
一般財源	9,065	15,500	16,344	△ 6,436

4. 事業の成果

評価指標	単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標		目標	70	70	70	70	70
独自指標	さかい夏祭り実行委員会委員数	実績		80	64	65	64
		達成率(%)	0.0	114.3	91.4	92.9	91.4
指標の説明							
指標		目標	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
独自指標	さかい夏祭り広告協賛金額	実績		3,303	3,356	3,407	3,153
		達成率(%)	0.0	110.1	111.9	113.6	105.1
指標の説明							
指標		目標	50	50	50	50	50
独自指標	さかい夏祭りへのかがし出展数	実績		45	53	54	48
		達成率(%)	0.0	90.0	106.0	108.0	96.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標に基づく評価	恒例のかがしコンテストには、連日遅くまで地域の仲間が協力して制作した力作が勢ぞろいし、テーマである「深めよう地域の絆」が深まりました。また、今年も東京の品川区からお客様にお越しいただき、踊り部会を中心に「品川音頭」も一緒に踊り、交流を深めることができました。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	総務・イベント・会場設営・踊り部会の各部会の部会長を中心に企画運営を行いました。しかし、祭りの事務や事務局的な業務について、実行委員会に移行していくにはまだまだ行政の支援が必要であり、今後も実行委員会の組織の見直しや意識の改革に向けて、実行委員会と話し合いながら進めていく必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	実行委員会主体となるよう意見交換し、少しずつ実務の移行は進んでいます。次年度に向けて広報拡大委員会を設置し、テレビ・ラジオ・SNSなどを活用し、多くの人に参加していただけるようPRに努めています。また、祭りを継続していくことで坂井町独自のまちづくりに寄与することを働きかけながら、今後も支援していきます。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	地域振興事務事業（坂井）	継続	実行委員会が中心となり運営できるような体制に移行していくために、支援していく必要があります。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性		
目標年度	継続	

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化	施策	4-4	観光の振興
	施策項目	(6) シビックプライドの醸成と周知活動				
実施事業名 (小事業)	地域振興事務事業（坂井）					
事業で得られたノウハウや気づき等	地域の住民の参加を得ることで、地域内の世代間の交流や地域のコミュニティ活動の推進に繋がっていくと考えます。今後、実行委員会が中心となり運営していくことで、より一層地域住民の親睦及び地域の特色を生かせるように、実行委員会に支援していきます。					